



海洋国家日本の羅針盤

参加費 1,000円
26歳以下無料
定員 150名 (先着)

さあ、 日本海時代へ

松下政経塾 落合拓磨 フォーラム

3/20 祝

14:30~16:30

庄内町文化創造館
響ホール 小ホール



プログラム

14:00	開場 受付開始
14:30	国歌「君が代」 山形県民歌「最上川」 斉唱
14:35	開会挨拶 松下政経塾 塾長 遠山敬史
14:40	研修報告 落合拓磨 「さあ、日本海時代へ」
15:15	基調講演 新井洋史教授 「日本海側港湾の展望」
15:40	小休止
15:50	対談「表日本のお玄関～日本海地域・アジアの展望～」
16:25	閉会挨拶

研修報告 松下政経塾 第44期 落合 拓磨

山形県出身。京都大学大学院法学研究科修了（法学修士）。東日本大震災を契機に、太平洋側に人や資本が集まる国土に疑問を抱く。日本海地域の連繋強化と災害リスク分散を促進し、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害を乗り越えられる相互補完の日本列島の構築を目指す。



基調講演 新潟県立大学 教授 新井 洋史 氏

新潟県立大学北東アジア研究所副所長。同大学北東アジア産学連携推進室長。東京大学大学院工学系研究科修了（工学修士）。新潟県庁、環日本海経済研究所を経て、令和5年より現職。ロシア・極東経済、国際物流、北東アジア地域協力を研究。新潟県東港コンテナターミナル活性化協議会委員、秋田港シーアンドレール構想推進協議会顧問などを務める。



パネリスト 木村武雄伝承会 木村 莞爾 氏

佐藤栄作首相の御意見番、田中角栄内閣の生みの親であり、元帥と愛された木村武雄代議士（旧山形1区）のもとで誕生。昭和46年、山形県議会議員初当選。その後5期18年余にわたり県勢発展のために尽力。この間、日中国交正常化や、「雪部隊」の遺骨収集のためインドネシア・スハルト大統領に直談判など、東・東南アジア外交にも携わる。令和6年9月、木村武雄伝承会が発会。



松下政経塾

主催 公益財団法人松下幸之助記念志財団 松下政経塾
担当 松下政経塾 44期生 落合拓磨
電話 080-1662-9236



山形県民歌

最上川

昭和天皇 御製 島崎赤太郎 作曲

広き野を

ながれゆけども

最上川

うみに入るまで

にござりけり

この歌は、

昭和天皇が、東宮でおられた大正十四年に山形県に行啓され
ご覧になった「最上川」の様子を、その翌十五年の「歌会始」
においておよみになられたものです。

昭和五年にいたって、宮内庁の許可を得て、東京音楽学校の
島崎赤太郎教授が作曲し、以来、県民に親しまれてきました。
その後、昭和五十七年「山形県民の歌」に制定されました。

山形県ホームページより

会場ご案内



庄内町文化創造館 響ホール 1階 小ホール

〒999-7781

山形県東田川郡庄内町余目字仲谷地280

飛行機をご利用の場合



庄内空港よりタクシーで15分

JRをご利用の場合



余目駅よりタクシーで5分

お車でお越しの場合



酒田中央ICより10分

駐車場 189台 乗合いのご協力をお願いいたします。



松下政経塾

主催 公益財団法人松下幸之助記念志財団 松下政経塾
担当 松下政経塾 44期生 落合拓磨
電話 080-1662-9236

